

かかわり つながる 幼保小連携教育

— 子供園・保育園・幼稚園からの円滑な接続を目指して —



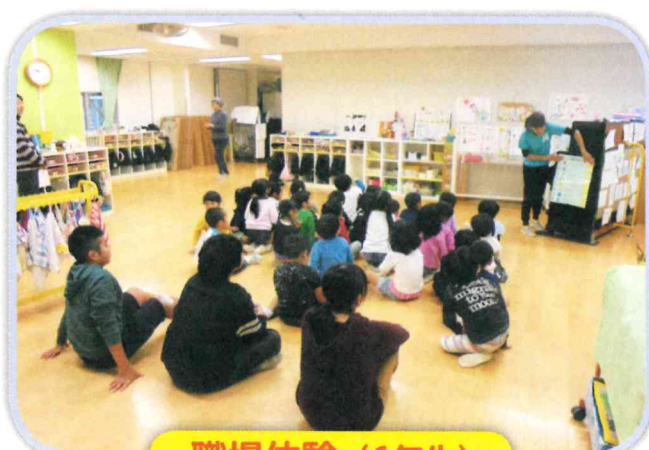
入園式（2年生）



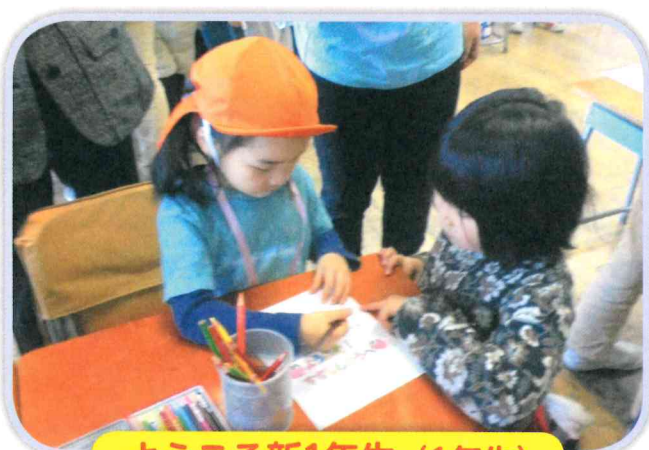
ざりがにつり（2年生）



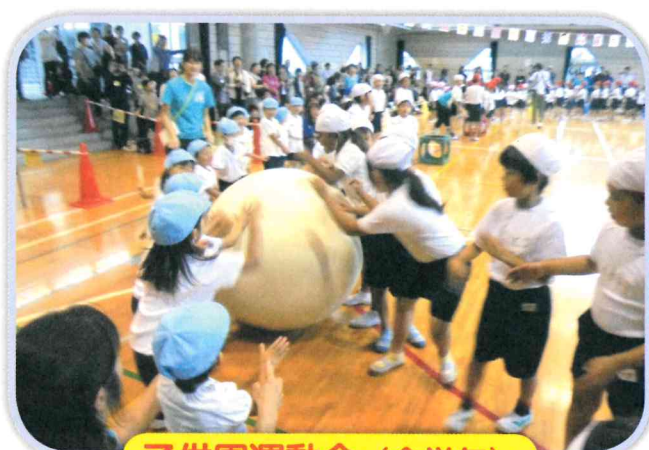
給食交流（4年生）



職場体験（6年生）



ようこそ新1年生（1年生）



子供園運動会（全学年）

ごあいさつ

杉並区立杉並第四小学校長 高橋 浩平

杉並区幼保小連携推進校となって2年目が終わろうとしています。本校は平成16年度より高円寺北子供園（当時は高円寺北幼稚園）と連携教育に取り組み、すでに10年以上の蓄積があります。先日校長室を片付けていたら、平成17年度に作成した「幼小連携教育の記録」という大きな掲示が出てきました。そのなかに2年生と年長さんがかわる「ざりがに」の記録もあり、この実践そのものが10年以上続いている実践なのだと改めて思いました。

ここまで継続されてきたということは、何よりも関係者の大きな努力あつてのことだと思います。

また、実践が長く続いているということは、今の中学生も小学校2年生の時にこの「ざりがに」を体験しているということです。この高円寺地域で小学校と子供園がこうした実践でつながっているということがとても意義あることだと感じています。

さらに子供園の卒園生にとっては、2年生になった時に、入園式で歌を歌ったり、「ざりがに」を教えたりする活動を通してよりお兄さんお姉さんらしくなっていくところがあります。活動の写真をみると、誇らしい表情が見てとれます。

さて、新しい学習指導要領、幼稚園教育要領が公示されました。私たちはこれを大きな指針として実践を進めていかなければなりません。このリーフレットはそのための一助として作成しました。このリーフレットが幼保小連携教育に少しでも参考になればうれしいです。

本校は区内唯一の子供園との併設校であることから、これだけの実践を積み重ねてきましたが、教職員には連携でいろいろと苦労をかけました。そのことに感謝しつつ、教員の「働き方改革」が言われる昨今、量を増やすのではなく質的な向上を図っていく必要を感じています。

また2年後に迎える新校開校と同時に、杉四小は現在の高円寺中の敷地に移転し、子供園とは離れます。離れてもより質の高い幼保小連携教育が進められるよう、これからも研究を深めてまいりたいと思います。

終わりにになりましたが、昨年度に引き続きご指導いただいた東京家政大学家政学部児童学科の佐藤暁子教授に感謝申し上げます。また杉並区教育委員会就学前教育担当課の皆様には、さまざまなところでご指導ご支援いただきました。ありがとうございました。



研究・実践の概要

杉並区教育ビジョン2012

共に学び共に支え共に創る杉並の教育

「杉並区教育ビジョン2012 推進計画」 7の目標より

目標Ⅰ 学びにつなげ、切れ目のない教育を進めます

杉並区立 杉並第四小学校 教育目標

- ①よく考えてやりぬく子ども
- ②すすんで体をきたえる子ども
- ③明るく思いやりのある子ども

研究主題 **かわわりとつながりの中で育つ
高円寺のなかま**

5つの柱

①小中一貫教育 ②子小連携教育 ③学力向上 ④体力向上 ⑤インクルーシブ教育



〈幼稚園教育要領〉

平成29年3月 文部科学省

小学校教育との接続に当たっての留意事項

- (1) 幼稚園においては、幼稚園教育が、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに配慮し、幼児期にふさわしい生活を通して、創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培うようにするものとする。
- (2) 幼稚園教育において育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教育が円滑に行われるよう、小学校の教師との意見交換や合同の研究の機会などを設け、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有するなど連携を図り、幼稚園教育と小学校教育との円滑な接続を図るよう努めるものとする。

〈小学校学習指導要領〉

平成29年3月 文部科学省

学校段階等間の接続

教育課程の編成に当たっては、次の事項に配慮しながら、学校段階等間の接続を図るものとする。

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえた指導を工夫することにより、幼稚園教育要領等に基づく幼児期の教育を通して育まれた資質・能力を踏まえて教育活動を実施し、児童が主体的に自己を発揮しながら学びに向かうことが可能となるようにすること。

また、低学年における教育全体において、例えば生活科において育成する自立し生活を豊かにしていくための資質・能力が、他教科等の学習においても生かされるようにするなど、教科等間の関連を積極的に図り、幼児期の教育及び中学年以降の教育との円滑な接続が図られるよう工夫すること。特に、小学校入学当初においては、幼児期において自発的な活動としての遊びを通して育まれてきたことが、各教科等における学習に円滑に接続されるよう、生活科を中心に、合科的・関連的な指導や弾力的な時間割の設定など、指導の工夫や指導計画の作成を行うこと。

幼稚園教育において育みたい資質・能力

幼稚園教育要領

- (1) 豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かたり、できるようになったりする **「知識及び技能の基礎」**
- (2) 気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする

「思考力、判断力、表現力等の基礎」

- (3) 心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする **「学びに向かう力、人間性等」**

小学校教育の基本（生きる力を育むために）

小学校学習指導要領

児童の発達の段階や特性等を踏まえつつ、次に掲げることが偏りなく実現できるようにするものとする。

- (1) **知識及び技能**が習得されるようにすること。
- (2) **思考力、判断力、表現力等**を育成すること。
- (3) **学びに向かう力、人間性等**を涵養すること。

新しい幼稚園教育要領、小学校学習指導要領は、上記の「資質・能力」についても連続性を意識して作られている、といってよい。小学校教育の「教科」と幼稚園教育の「領域」の考え方には当然違いがあるが、幼稚園教諭と小学校教諭が共有したイメージをもてるように「幼稚園教育要領」に示されたものが「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」である。

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

幼稚園教育要領

(1) 健康な心と体

幼稚園生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。

(2) 自立心

身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならぬことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。

(3) 協同性

友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる。

(4) 道徳性・規範意識の芽生え

友達と様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動するようになる。また、きまりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、きまりをつくったり、守ったりするようになる。

(5) 社会生活との関わり

家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに、地域の身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気付き、相手の気持ちを考えて関わり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しみをもつようになる。また、幼稚園内外の様々な環境に関わる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり、活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになるとともに、公共の施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するようになる。

(6) 思考力の芽生え

身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。また、友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気付き、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。

(7) 自然との関わり・生命尊重

自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探究心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気付き、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にすることができるようになる。

(8) 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる。

(9) 言葉による伝え合い

先生や友達と心を通わせる中で、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる。

(10) 豊かな感性と表現

心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付き、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。

子どもの発達の姿

年 齢	学 年	発達段階 (ピアジェ)	発 達 の 姿
0 歳	乳児期	感覚運動期 感覚を通して外界の物事をとらえ、その物に直接的に働きかけることなどの具体的な行動を通して外界を認識する時期	首が座り、寝返り、腹ばいができ、座る、はう、立つ、伝え歩きから自立歩行へ。
1 歳	幼児期		歩き始め、手の使用、言葉を話し始める。モノを使って遊び始める。
2 歳	幼児期		基本的運動機能や手指の機能が発達してくる。食事、衣服の着脱、排泄等の自立へ向かう。
3 歳	幼児期	前操作期 言語を獲得し、イメージや表象を用いて考えたり行動したりできるようになる時期。(論理的な思考がまだできず、見かけにとられやすい、自己中心性がある)。	食事、衣服の着脱、排泄等の自立がほぼできる。話し言葉が豊かになる。
4 歳	幼児期年少		一緒に遊んだり会話したりが豊かになってくる。道具の使用に慣れてくる。
5 歳	幼児期年中		友達と協力しあえるようになる。社会生活に必要な力が少しずつついてくる。
6 歳	幼児期年長		友達と相談し活動を高めていける。運動能力が向上し動きが滑らかになってくる。
7 歳	児童期 1 年	具体的操作期 表象を具体的な事物・状況を利用しながら操作できるようになる時期。(['数・量の保存概念']は獲得するが、抽象的思考や概念の操作を行うことは難しい。)	大人への依存は残っているが一人でやれることも増えてくる。
8 歳	児童期 2 年		友達との関係が広がる。年上年下を意識し始め、集団内のふるまいを意識するようになる。
9 歳	児童期 3 年		「大人より友達」の時代、ギャングエイジ。活動範囲が広がってくる。
10 歳	児童期 4 年		「9歳の壁(節)」を迎える。自尊感情が低くなることもある。
11 歳	児童期 5 年	形式的操作期 「表象・概念・記憶」を自由かつ論理的に操作することが可能になる時期。(抽象的・論理的な思考の操作によって『科学的思考(仮説演繹思考)』ができる)	抽象的思考が可能になってくる。集団や社会への意識が高まってくる。
12 歳	児童期 6 年		男女の性差の意識が高まる。大人に対する不信感が出てくることもある。

※ピアジェの発達段階はあくまで認知の発達であり、個人差もある。また年齢で明確に区切れるものでもない。あくまでも目安である。

平成29年度の実践



子供園入園式



第1回 幼保小連絡会



ざりがにつり



給食交流



七夕



とうもろこしの皮むき



サマーキャンプ



第2回 幼保小連絡会



阿波おどり交流

4月

10日(月) 子供園入園式(2年生)

高円寺北子供園の入園式で2年生がお祝いの歌を披露します。

24日(月) 第1回幼保小連絡会

学期に一回ずつ、杉四小と子供園・保育園の職員が集まり、情報交換や振り返りをしています。

6月

2日(金) ざりがにつり(2年生)

2年生は生活科「生きものはっけん」の単元として全8時間で行っています。ざりがにを飼育・観察し、ざりがにについて調べ、考えます。考えたことをもとにクイズや紙芝居を用意して年長さんにざりがにについて教えます。一緒にざりがにも釣ります。

9日(金) 給食交流(4年生)

より 4年生が週一回子供園の配膳のお手伝いに行き、一緒に給食を食べています。



7月

5日(水) 七夕

子供園の七夕の活動に小学生が参加しています。短冊を書いたり、子供園の七夕の集会(小学校の休み時間に行われる)に参加したりしています。

14日(金) とうもろこしの皮むき

子供園児が、小学校と子供園の給食に使うとうもろこしの皮むきをしました。一年生も別の日に同じ活動を行っています。

16日(日) サマーキャンプ

アトム会(杉四小おやじの会)が主催しています。小学生、子供園児の参加で交流をしています。(参加は任意で申込制です。小学生は泊まる児童もいます。)

8月

31日(木) 第2回幼保小連絡会

1学期の交流の振り返りと2学期の計画の確認、そして東京家政大学教授佐藤暁子先生に「幼児期の子どもの育ちと小学校との連携」についてご講演いただきました。公開研修会として行いました。

9月

4日(月) 子供園保護者会

校長が「小学校生活」について話しました。



12日(火) 阿波おどり交流(5年生)

運動会で踊る「阿波おどり」を5年生が子供園の年長児に教えます。立派な先生ぶりでした。

24日(日) 小学校運動会(全学年)

就学前児童のプログラムのほかに、子供園児と小学生の「縦割り班リレー」、全員参加の「阿波おどり」をします。子供園児が小学校の運動会を見て、参加して、交流を深めます。

10
月7日(土) **子供園運動会(全学年)**

子供園の運動会に小学校の全学年が参加します。小学校は土曜授業とし、応援したり、競技に参加したり、用具係をしながら、小学生全員が参加できるように工夫しています。



小学校運動会

2日(木) **幼児教育公開**

子供園が区内の先生方を対象に幼児教育公開を行いました。杉四小は午前授業で、全教員が幼児教育公開に参加します。子供園の先生方とたくさん意見交流ができました。

11
月10日(金) **小学校学習発表会**

11日(土) 小学校の学習発表会を子供園児が参観します。子供園の作品も飾ります。



子供園運動会

20日(月) **職場体験(6年生)**

(単元の期間は
10/16~12/15)

6年生が総合的な学習の時間「ぼくの夢わたしの夢」(自分の将来について考える)の単元の一環として子供園に行き、ミニ職場体験をしてきました。



幼児教育公開

1日(金) **全国児童文化研究会 研究発表大会**

オープニングとして全児童が阿波おどりを踊りました。高円寺中の中学生や子供園児も一緒に参加してくれました。日頃の交流がこうしたときでも生きています。

12
月21日(木) **子供園お楽しみ会(小学校教員)**

子供園のお楽しみ会にサンタ役として小学校教員が参加しています。



小学校学習発表会

1
月16日(火) **第3回幼保小連絡会**

2学期の交流の振り返りと3学期の計画について確認しました。



職場体験

2日(金) **子供園節分(小学校教員)**

子供園の節分にオニ役として小学校教員が参加しています。

20日(火) **ようこそ1年生(1年生)保育園**

高円寺北保育園の年長児が1年生と交流し、給食も一緒に食べます。

27日(火) **ようこそ1年生(1年生)子供園**

高円寺北子供園の年長児が1年生と交流し、給食も一緒に食べます。

28日(水) **子供園元気タイム(1年生)**

昨年に引き続き子供園年長児と1年生がすずなみ体づくりキャラバンの井村浩明先生の指導で、一緒に体を動かしました。



研究発表会



子供園お楽しみ会



子供園 節分

3
月9日(金) **学校見学 保育室**

近隣の保育室の年長児が学校を見学していきました。



学校見学



子供園元気タイム



ようこそ1年生(子供園)



ようこそ1年生(保育園)

園長先生より

「学びをつないで」

高円寺北子供園 園長 高橋 章子

2月に行われた1年生と年長児の交流授業「ようこそ1ねんせい」では、1年生が準備をした様々なプチ1年生体験コーナーを年長児がうれしそうに、そして少し緊張しながら回りました。ペアになった1年生が、やや表情の硬い年長児に言葉を選びながら優しく声をかけ誘導していました。そのような年長者（1年生）の姿が、年少者（年長児）にとっては憧れの存在になり未来の自分になるのだと思います。それは、1年生と6年生・小学生と中学生の関係でも同様です。様々な人の存在を知り、多様なかかわり方を学びながら子どもたちは大きく育っていきます。来年の今頃は、この年長児が1年生として堂々と活躍してくれることを期待しています。



さて、本園では、次年度からの2年間で教育委員会教育課題研究指定園として「幼保小の学びをつなぐ接続期カリキュラムの在り方」をテーマに研究を進めてまいります。これまでの連携教育交流の意義も含めて、幼児期の遊びを中心とした総合的な学びを小学校教育での自覚的な学びへつなぎ、高円寺の子どもたちが、かかわりをつなぐの中で、主体的に自信をもって育っていくよう教育・保育機関、及び保護者・地域の皆様のお力をいただきながら尽力してまいります。

園長先生より

「就学を楽しみに」

高円寺北保育園 園長 上條 佳美

4月、年長組に進級した時から「次は1年生！小学校に行くんだよ」と話していた子どもたち。楽しみな気持ちと、不安な気持ちが混在している様子が伺えました。就学前の大切な1年であることを、子どもたちなりに受け止めているようでした。そのような子どもたちの不安に寄り添いながら、就学に向けての不安を取り除き、楽しみに待てるようにするための取り組みのひとつとして、幼保小連携を実践しています。



今年度は、2月20日（火）に杉並第四小学校との交流がありました。出発前は、少し緊張した表情の子どもたち。ワクワクの期待よりも、ドキドキの緊張が勝っているような姿でした。しかし、交流を終えて帰園した子どもたちは、目を輝かせ「おもしろかった！」「また行きたい！」等、興奮気味に交流の楽しさを話してくれました。小学校という憧れの場所に足を踏み入れ、就学に向けての期待に胸を膨らませる子どもたちの姿に、改めて幼保小連携の意味を感じました。短い時間ではありながら、小学校の魅力を感じることができた経験に感謝しております。そして、今後はより連携を深め、子どもたちの貴重な体験の場を大切にしていきたいと思っております。

参考文献

- 1 杉並区教育委員会
「杉並区立子供園育成プログラム」(平成30年1月)
- 2 杉並区高井戸西子供園 研究リーフレット
「幼児期の思考力を育てる保育の在り方
～対話的な学びに焦点をあてて～」(平成29年11月)
- 3 文部科学省「幼稚園教育要領」(平成29年3月)
- 4 文部科学省「小学校学習指導要領」(平成29年3月)
- 5 杉並区立成田西子供園 研究リーフレット
「感情体験や共感体験を通して育む自尊感情
～生きる力・乗り越える力～」(平成29年1月)
- 6 杉並区教育委員会
「すぎなみスタートカリキュラム」(平成29年1月)
- 7 東京都教育委員会
「就学前教育カリキュラム 改訂版」(平成28年3月)
- 8 杉並区教育委員会
「杉並区幼保小接続期カリキュラム・連携プログラム
ぐんぐん伸びるすぎなみの子
～かかわる つながる ふかまる育ちと学び～」(平成26年3月)
- 9 文部科学省他
「スタートカリキュラム スタートブック」(平成27年1月)



杉並区立杉並第四小学校

〒166-0002 東京都杉並区高円寺北 2-14-13
Tel 03-3339-5241 Fax 03-3339-8593
<http://suginami-school.ed.jp/sugi4shoubg/>